



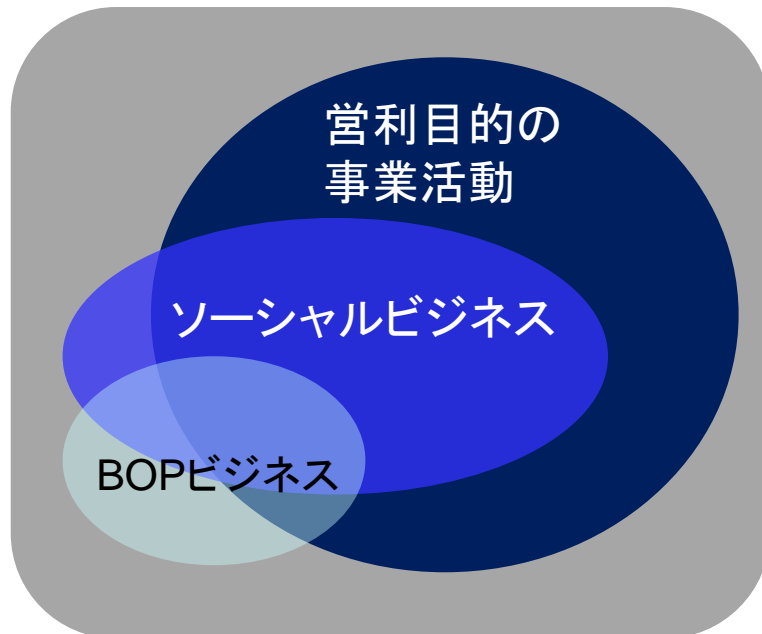
Global Compact Network
Japan

GC-JN BOP・ソーシャルビジネス分科会



分科会の方向性の確認「対象とするビジネスは？」

- 分科会の対象：「BOPビジネス」×「ソーシャルビジネス」
 - BOP (Base of the Pyramid) はレイヤー。社会インフラの制約及び購買力不足のため、一部の企業を除いて市場として意識されてこなかった
 - 社会課題解決を目的とした事業活動。あくまでも、営利事業活動である。但し、営利は目的ではなく事業を持続するための手段。
 - 日本企業として取り組む意義：新規市場の獲得、事業のイノベーション、長期的に持続する事業の創造、社会的責任意識の醸成、etc.



● 現状の取組の課題点

- 実事業とCSR活動の融合
- 資金調達とリソースの配分 etc.

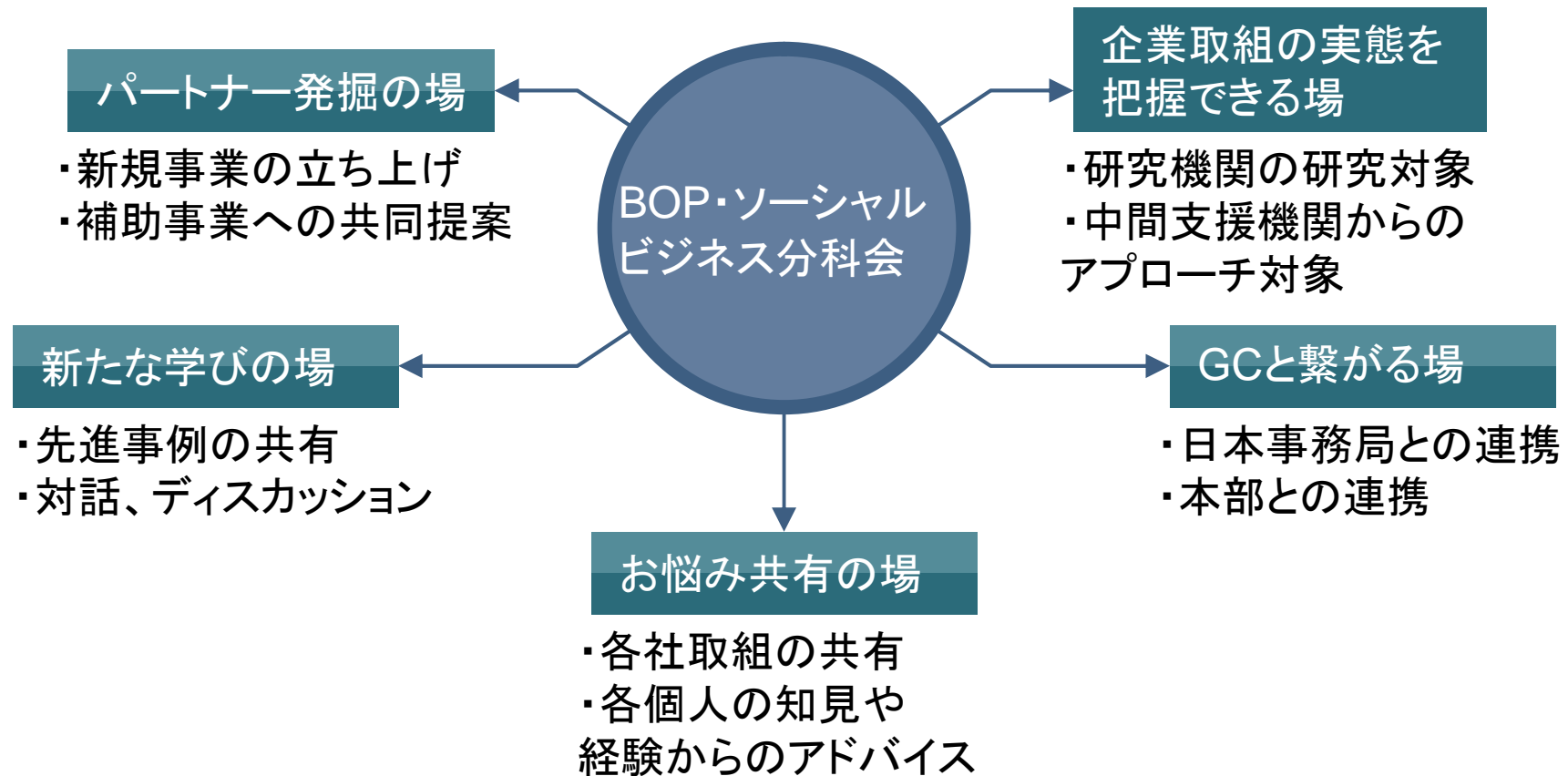
● 実現のためのキーワード

- 人材：イントレプレナー、青黒い人
- 資金：公的資金の活用（民間連携）
- 事業：CSV (Creating Shared Value)、相互補完的なリソースを持つ社会的組織（非営利団体、国際機関）との戦略的連携



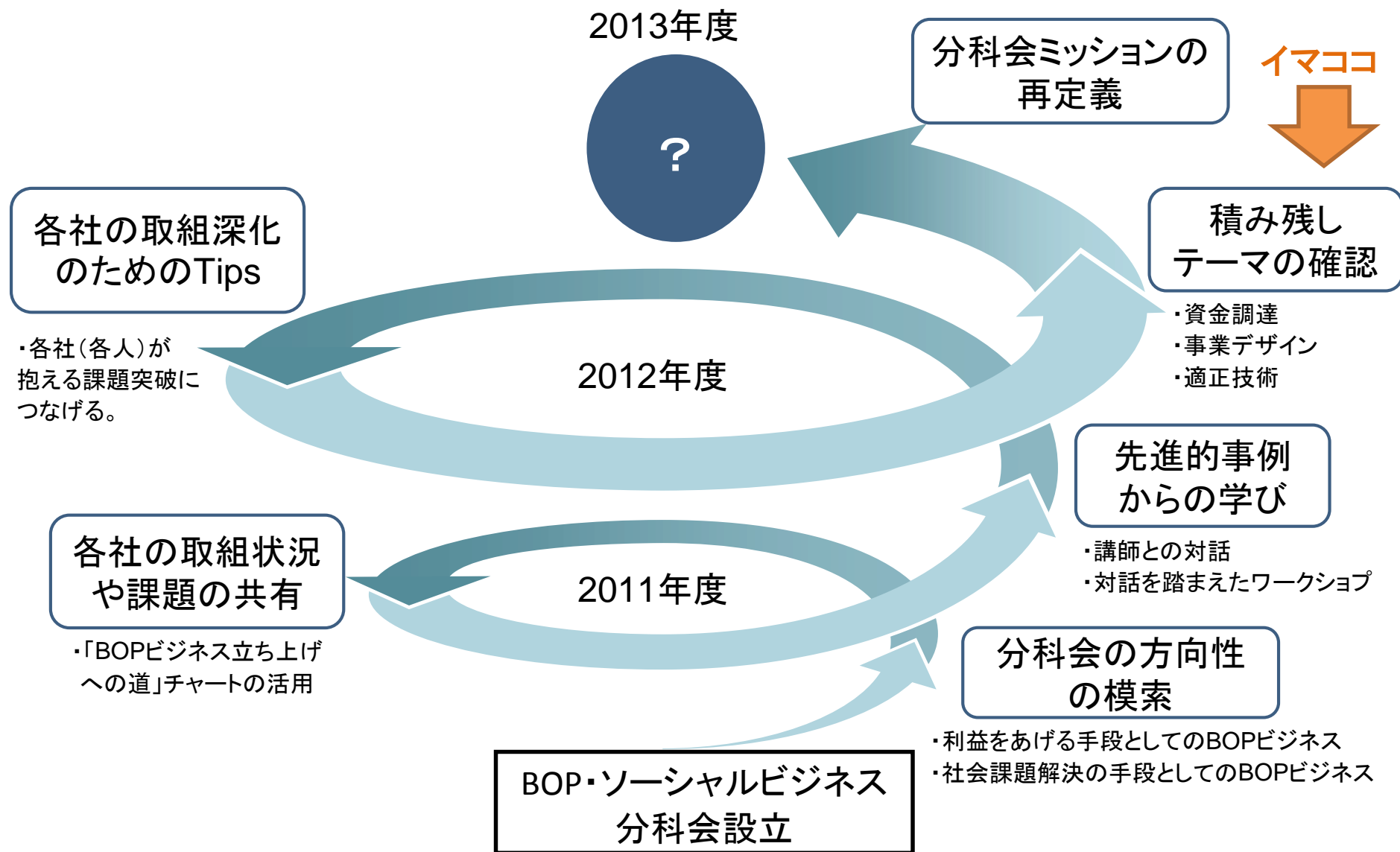
分科会＝「プラットフォーム」＋α？

- 個人単位や企業内だけではできないことを実践する場





分科会のミッション再定義が必要な時期に・・・





先進的事例の共有 「2012年度の活動実績」

分科会	題材(形式)	対象	内容
第1回 (8月8日)	スタートアップ (対話)	I~III	【講演者】リコー 瀬川様 •スタートアップの動き方、チーム・ビルディング •人(周囲、トップ)の巻き込み •現場に対するスタンス(寄り添う、思い込み排除、What後)
第2回 (10月4日)	事業モデル構築 (対話)	III~VII	【講演者】感性空間オフィス平野 平野様(元ヤクルト専務) •事業開始の理由(危機感、社会的課題解決etc.) •過去の実施状況(現地の人材育成、雇用創出) •現在の進捗(抱えている問題点) •将来の展開(ゴール設定)
第3回 (12月6日)	CSV (ワークショップ)	I~VII	【講演者】275研究所 森様(株式会社 大広) •戦略的CSRからCSVへ、社会課題を解決する事業のためのマーケティング手法、自社展開のイメージ
第4回 (2月12日)	「自社でソーシャルビジネス」 (対話)	I~V	•今までの分科会の振り返り •メンバー企業事例のシェア(NEC 渡辺様) •イノベーションを創出する人材~イントラプレナー(Aii小林様/DSIA服部様) •知見・ノウハウをベースに自社実践の具体的なアクションをイメージする
第5回 (4月22日)	リソース活用 (対話)	ヒト、カネ	【講演者】アライアンス・フォーラム財団 松上様、打田様 •新興市場ビジネスにおける外部リソース活用法(活用方法、アプローチ方法、失敗事例、パートナーシップの種類)
第6回 (5月23日)	リソース活用 (対話)	ヒト	【講演者】NPO法人クロスフィールズ 小沼様 •クロスフィールズが目指す3つの変化とビジョン、NGOとの付き合い方等
第7回 (6月24日)	リソース活用 (対話)	ヒト、モノ	【講演者】プラン・ジャパン様 大橋様 •企業とNGOの連携の可能性と課題



積み残しテーマの確認 「2013年の活動予定」

分科会	題材(形式)	対象 フェーズ	内容(案)
第1回 (7月21日)	対話 & ワークショップ	I~III	【講演者】ウィルソン・ラーニング三浦様 ・「チームビルディング」のワークショップ
第2回 (10月18日)	対話	III~V	【講演者】グランマ 山本様 ・プロダクトデザイン(社会的課題解決のビジネスモデル)
第3回 (11月中旬)	対話	III~V	【候補講演者】輝水工業(株) ・適正技術
第4回 (12月中旬)	対話	III~V	【講演者】MURC 小柴様、近藤様 ・資金調達スキームの紹介 ・スキームを活用した事例紹介(サラヤ様の事例)
第5回 (2月上旬)	未定	未定	【候補講演者】未定
第6回以降	未定	未定	【候補講演者】未定



今後の題材(アイデアベース)

- BOPビジネスに取り組んだ企業のメリット・デメリットの分析
 - 目的:社内(外)の説得資料への活用。
 - 内容:BOPビジネスによるブランドイメージ、株価、戦略等への影響分析・検証。
 - 方法:グループワーク(調査設計→各自調査→発表)

- BOPビジネスの種類、アプローチ、規模、対象国等の比較分析
 - 目的:企業が取り組みやすい(社内外からの納得を得るための)事例の把握。
 - 内容:欧米企業と日本企業の取組例の比較
 - 方法:グループワーク(調査設計→各自調査→発表)

- BOPビジネスにおける開発効果評価の実践
 - 目的:事業から創出される開発効果の評価方法を把握し、個社事業に役立てる。
 - 内容:開発効果評価の全体像の把握、具体的なケーススタディを実施。
 - 方法:グループワーク(全体共有→各自調査→ケーススタディ→発表)

みなさんの参加をお待ちしております！